

名護市 第60回全日本花いっぱい

名護大会を開催しました。

名護市では、道路、公道・公園・民家等、あらゆる場所において花が見られる街「フラワースィティなご」を推進しています。平成

10年には、本市における花いっぱい運動の要となる市民団体「花の里づくりの会」が発足し、市民・企業・行政が連携し花いっぱい運動に取り組んできました。これまで培ってきた花いっぱい運動の成果を共有するとともに、次世代に花いっぱい運動の素晴らしさを伝えるため、令和4年3月5日(土)に市政施行50周年記念事業として全国大会を開催いたしました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により1年越しの開催となりましたが、名護市民会館で開催した記念式典には、約300名の参加がありました。

また、初めての試みとなるYouTubeによる配信を行い全国の会員にご覧いただきました。

記念式典の後、名護市民会館正面ピロティ前花壇において、カンヒザクラ(名護市の花木)の記念植樹を

第60回全日本花いっぱい名護大会



会場の様子



再拡大抑制期間(沖縄県対処方針)に基づき、中止となりました。

多くの皆さまにご参加いただきありがとうございました。

行いました。

なお、交流

レセプションについては、感染

うございました。

今回の大会を通じて、次世代を担う若い世代に花いっぱい運動の取り組みが根付くことで、市民主体の緑花活動の推進につなげ、「フラワースィティなご」及び「花いっぱい運動」のさらなる発展を目指します。



名護大会オリジナルテーマ曲「心花(こころはな)」
ピアノデュオ Duetwo(デュエットウ)



オープニングアトラクション
沖縄・名護ジュニアコーラス



全日本花いっぱい連盟会長
臥雲 松本市長のあいさつ



名護大会実行委員長
渡具知 名護市長のあいさつ



大会旗リレー
渡具知名護市長から臥雲会長(代理:内田理事)、
真砂田辺市長(代理:前溝事務局長)へ



全日本花いっぱい連盟
令和元年度 花いっぱい功労者表彰



名全日本花いっぱい名護大会
名護市花いっぱい花壇コンクール表彰



名護大会副実行委員長 花の里づくりの会会長 閉会のあいさつ



YouTube配信 司会者:比嘉純子



次期開催都市
真砂田辺市長のあいさつ



記念植樹式 カンヒザクラ(名護市の花木)



記念植樹式



北部農林高等学校 園芸工学科 歓迎モニュメント



会場内モニュメント



イルミネーションで彩られた円形花壇



会場内モニュメント



田辺市 第61回全日本花いっぱい大会

田辺大会の開催に向けて

和歌山県田辺市において、61回目となる全日本花いっぱい大会を令和5年3月25日(土)・26日(日)に開催します。和歌山県での開催は、平成14年に和歌山市で開催した「第45回全日本花いっぱい和歌山大会(第5回世界大会)」に次ぎ、田辺大会が2回目となります。

田辺大会は、2日間にわたって開催し、第1日目となる25日は交流レセプション(前夜祭)を、第2日目の26日は大会記念式典と記念植樹を行います。交流レセプションの最後には、市を挙げたサプライズ演出を予定しています。また、この2日間は、メイン会場となる新庄総合公園において、地域の産品が集まる物産市やステージイベントなどの企画を予定しています。

新庄総合公園は、23畝の広大な面積を有する都市公園で、平成11年開催の「ジャパンエキスポ南紀熊野体験博『リゾートピアわかやま'99』」のシンボルパークや、平成23年開催

の「第62回全国植樹祭」の式典会場となりました。また、当公園は、年間を通して様々な花が咲き誇っており、見ごろとなる春や秋には花まつり(NPO花つばみ主催)が開催されます。園内の花壇は、NPO花つ



メイン会場となる新庄総合公園の花壇(春の花まつり)

ばみのご協力をいただきながら管理されており、田辺大会の開催に向けて花壇面積を拡張するなど、大会の開催機運の醸成を図っています。

また、本年3月には、

大会開催1年前イベントと称した「キックオフイベント」を開催し、大会までの日数を刻むカウントダウンボードの除幕式や、実行委員会メンバーで作成したモザイクアート花壇の展示などを行いました。このキックオフイベントを皮切りに、



大会啓発ブースを設置し、オリジナルポロシャツの販売や花の種やチラシを配布

田辺大会・プレイベント等の詳細については、大会ホームページをご覧ください。https://www.city.tanabe.lg.jp/kanri/hanaippai_tanabe/





キックオフイベントでお披露目したカウントダウンボード



キックオフイベントで展示したモザイクアート花壇、使用した苗は来場者にプレゼント



世界でも珍しい「道」の世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」

「花いっぱい講習会」や「花いっぱいコンテスト」などのイベントを開催するとともに、市内で開催される各種イベントに啓発ブースを出店するなど、大会の啓発にも努めています。

大会開催時には、精一杯の花のおもてなしで、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

田辺市について

田辺市は、紀伊半島の南西側、和歌山県の中央部に位置する近畿最大の行政区画を有するまちです。西寄りの海岸部に都市的地域を形成、そこから東向きに森林が大半を占める中山間地帯が広がっています。気候は海岸部の温暖多雨な太平洋型気候

から山間地における内陸型の気候まで広範囲にわたっています。

また、田辺市は和歌山県・奈良県・三重県にまたがる三つの霊場とそこにつながる参詣道、それらを取り巻く文化的景観で構成するユネスコの世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の中心地に位置しています。



ナショナルトラスト運動の先駆けとなった「天神崎」最近、ウユニ塩湖のような写真が撮れる映えスポットとして人気

事務局だより

令和5年度の全国大会は諸事情により開催されません。
よろしくお願いいたします。
現在、第62回大会以降の開催地を募集しております。
開催希望、またはご検討いただける場合は事務局までご連絡下さい。

第52号

発行日 令和4年7月
発行 全日本花いっぱい連盟事務局
長野県松本市中央1-18-11
Mウイング2F
TEL 0263-3213042
FAX 0263-3216511